



スピーカーシステム

VXC2P リファレンスマニュアル

目次

はじめに	3
本製品について.....	3
ユーティリティソフトウェア.....	3
マニュアルの構成.....	3
本製品のマニュアル.....	3
関連するマニュアル.....	4
本書の記載内容に関するお知らせ.....	4
同梱品.....	5
別売品.....	5
用意するもの.....	5
各部の名称と機能	6
各部の名称.....	6
ディップスイッチの設定方法.....	8
接続図	10
スピーカーの取り付け方法	11
ソフトウェアで制御する	15
資料	16
ファームウェアのアップデート.....	16
本体の初期化.....	17
仕様.....	18

はじめに

本製品について

本製品は、会議室などで音声の拡声に使用するスピーカーシステムです。

ADECIA ソリューションを構成する機器のひとつで、オフィスの会議室の天井に取り付けるタイプのスピーカーです。

✓ Dante と PoE (Power over Ethernet) に対応

ADECIA をはじめとする、デジタルオーディオネットワークシステムに組み込むことができます。

✓ 広い空間での遠隔会議に対応

均一で高品位な音質・音量を提供するため、座席位置の影響を受けることのない音環境で会議に参加できます。

✓ フレキシブルな部屋の使い方に対応

可動式間仕切り壁などで部屋を分割したり、複数の部屋で ADECIA 機器・音声信号を共有したりと、フレキシブルな部屋の使い方に対応できます。

ユーティリティソフトウェア

本製品は、用途や環境に合わせて本体を設定するため、以下のユーティリティソフトウェアを利用できます。各ソフトウェアでできることは、「ソフトウェアで制御する」(15 ページ)を参照してください。

RM-CR Web GUI デバイスマネージャー

RM-CR や RM-CR に接続した機器の制御をするソフトウェアです。Windows のブラウザ上で動作します。

RM Device Finder

同一ネットワーク上の ADECIA 機器を制御するための Windows 用ソフトウェアです。ネットワーク上の ADECIA 機器を検知し、各機器のデバイスマネージャーを表示したり、ファームウェアのアップデートを行ったりします。

ProVisionaire Kiosk

機器のコントロールを行うソフトウェアです。Windows PC または iPad/iPhone で動作します。

ProVisionaire Control PLUS

ProVisionaire Kiosk のコントローラーをデザインするための Windows 用ソフトウェアです。

ProVisionaire Design

プロセッサーを中心に周辺機器を組み合わせて構築するサウンドシステム全体を設計・管理するための Windows 用ソフトウェアです。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、ヤマハウェブサイトから PDF ファイルでダウンロードできます。

▼ ヤマハダウンロードサイト

<https://download.yamaha.com/>

本製品のマニュアル





- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書 (同梱) | 本製品の取り扱いについて説明しています。 |
| <input type="checkbox"/> 設置方法・寸法図 (同梱) | 本製品の設置方法の概要図と寸法図を掲載しています。 |
| <input type="checkbox"/> セーフティーガイド (同梱) | 本製品を安全にご使用いただくための注意点を説明しています。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> リファレンスマニュアル (本書) | 本製品の接続方法や取り扱いについて説明しています。 |
| <input type="checkbox"/> リモートコントロールプロトコル仕様書 | 外部機器から本製品の情報を取得および制御するためのコマンド情報を記載しています。 |

関連するマニュアル

- | | |
|---|---|
| □ RM-CR リファレンスマニュアル | RM-CR や周辺機器のセットアップ方法、RM-CR の取り扱いについて説明しています。 |
| □ RM-CR RM-CG RM-TT Web GUI デバイスマネージャー操作ガイド | RM シリーズ各機器の「Web GUI デバイスマネージャー」について説明しています。 |
| □ RM Device Finder ユーザーガイド | 「RM Device Finder」の操作方法について説明しています。RM Device Finder のソフトウェアダウンロードファイルに同梱されています。 |
| □ ProVisionaire Kiosk ユーザーガイド | 「ProVisionaire Kiosk」の操作方法について説明しています。 |
| □ ProVisionaire Control PLUS ユーザーガイド | 「ProVisionaire Control PLUS」の操作方法について説明しています。 |
| □ ProVisionaire Design ユーザーガイド | 「ProVisionaire Design」の操作方法について説明しています。 |

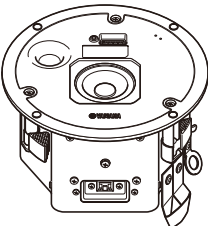
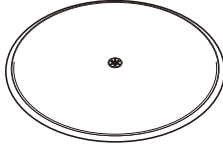
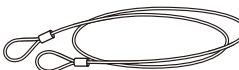
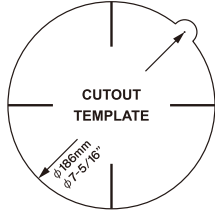
本書の記載内容に関するお知らせ

本書に記載されている記号とその内容は以下のとおりです。

 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
 ご注意	製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。
 お知らせ	操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

- 本書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 弊社では製品のソフトウェアを継続的に改善しています。最新のソフトウェアは、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。
- 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

同梱品

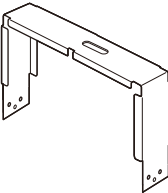
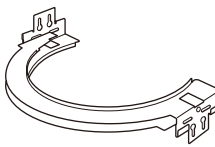

A スピーカー  ×1	B グリル  ×1	C 安全ワイヤー 635 mm  ×1	D 穴開け用型紙  ×1
---	---	---	--

- 取扱説明書
 - セーフティガイド（保証書を含む）
 - 設置方法・寸法図チラシ
- ※ Ethernet ケーブルは含まれていません。

別売品

E 天井補強金具 AB-C2

同梱品

ボルト吊下金具  ×1	O リング  ×1	ネジ (S タイト M4×8 mm)  ×4
---	---	--

- ※ アンカーボルトは付属していません。
- ※ 本書では AB-C2 を使用した設置方法も説明しています。

用意するもの

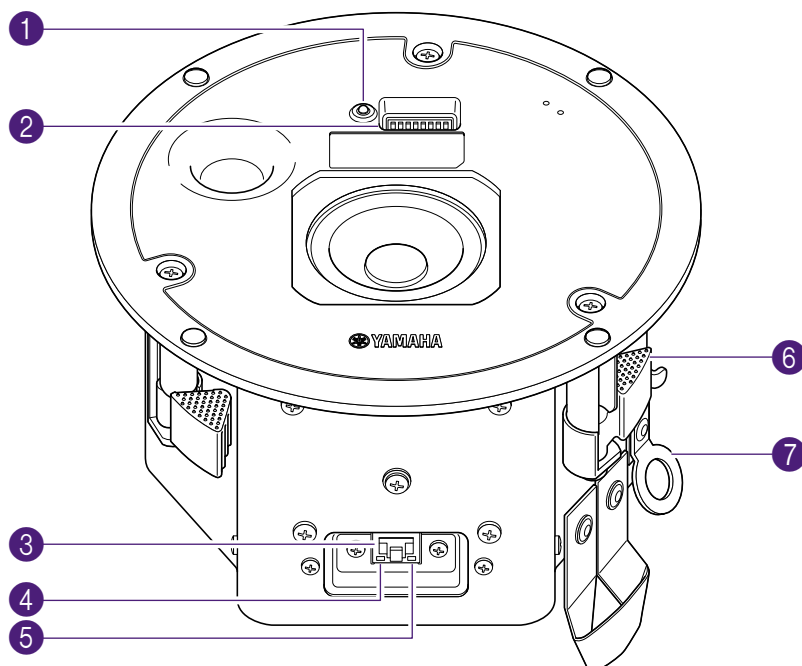
- IEEE802.3at (PoE+) または IEEE802.3af (PoE) に準拠した PSE
本体に電源を供給するため、プロセッサなどの Dante 機器と本製品との間で使用します。
※ PSE (Power Sourcing Equipment) : PoE インジェクターや PoE ネットワークスイッチの総称
- Ethernet ケーブル
Dante 機器と PSE の間と、PSE と本製品の間で使用します。

i お知らせ

- IEEE802.3at 規格の最大給電電圧 (57 V) に対応した CAT5e 以上の Ethernet ケーブルをご用意ください。
- 使用できるケーブルは最長 100 m です。
- 電磁干渉防止のために、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル (シールド付きツイストペアケーブル) をお使いください。

各部の名称と機能

各部の名称



① Power インジケータ

電源の状態を表示するインジケータです。

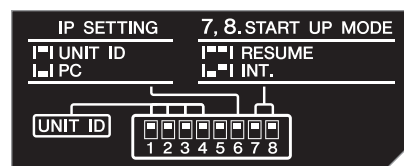
●	緑色	点灯	電源が正しく供給されている状態
●	緑色	高速で点滅	初期化実行中
●	緑色	点滅	ユーティリティソフトでの Identify に応答中
○	消灯		電源が入っていない状態。または起動から約 30 秒経過した状態

② 機器設定ディップスイッチ

本製品の起動に関する設定をします。

ディップスイッチの下部に設定の説明ラベルが貼られています。

🔗 [ディップスイッチの設定方法 \(8 ページ\)](#)



③ Dante/NETWORK 端子

Dante 機器と接続する RJ-45 端子です。(イラストは端子カバーを外した状態です)






お知らせ

Dante 対応機器またはギガビットイーサネット対応機器 (PC を含む) 以外は接続しないでください。


4 SYNC インジケータ

Dante ネットワークの動作状態を表示するインジケータです。

	緑色	点灯	本製品がクロックのフォロワー機器として同期している状態
	緑色	点滅	本製品がクロックのリーダー機器として同期している状態
	橙色	点滅	Dante ネットワーク間のワードクロック設定が間違っている状態 → Dante Controller で、クロックリーダーとサンプリング周波数を正しく設定してください。

5 LINK/ACT インジケータ

Dante/NETWORK 端子の通信状態をあらわすインジケータです。

	緑色	高速で点滅	Ethernet ケーブルが正しく接続されている状態
---	----	-------	----------------------------

6 クランプ

スピーカー本体を天井に取り付ける際、天井やOリングを押さえ込み固定します。

[☞ A スピーカー本体を天井に取り付ける \(13 ページ\)](#)

7 安全ワイヤー取付金具

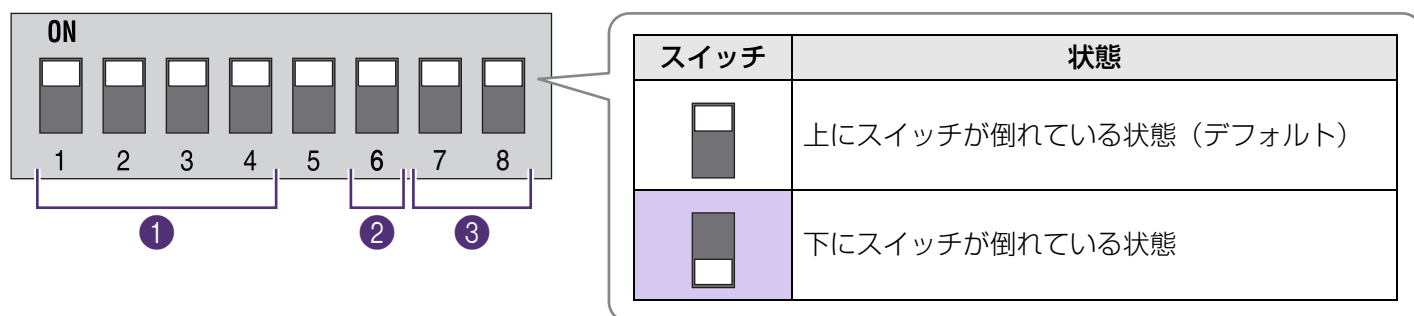
安全ワイヤーを頑丈な溝形鋼などにつなぎます。

[☞ C 安全ワイヤーを天井に取り付ける \(12 ページ\)](#)

ディップスイッチの設定方法

7つのスイッチを切り替えて、本体の設定をします。

ディップスイッチの仕組み



- ① ディップスイッチ 1～4 UNIT ID 個別の ID（同じネットワーク上で重複しないように設定）
- ② ディップスイッチ 6 IP SETTING IP アドレスを設定
- ③ ディップスイッチ 7～8 START UP MODE 起動モードを設定



- ・ 設定の変更は PSE (Power Sourcing Equipment) の電源をオフにしてから行ってください。
- ・ 電源がオンのときに設定を変更しても、一度電源をオフにしないと設定の変更が反映されません。

① ディップスイッチ 1～4（UNIT ID）

本体の [UNIT ID]（個別の ID）を設定します。

[UNIT ID] は、ディップスイッチ 1～4 で設定した値に 100 を足した数値 101～115（16 進数：65～73）まで割り当てることができます。

UNIT ID	ディップスイッチ			
	1	2	3	4
101				
102				
103				
104				
105				
106				
107				
108				

UNIT ID	ディップスイッチ			
	1	2	3	4
109				
110				
111				
112				
113				
114				
115				
RESERVED				



複数の VXC2P を同一のネットワークで接続する場合は、[UNIT ID] が重複しないようにしてください。ディップスイッチを “RESERVED” に設定することで、[UNIT ID] を 101～115 以外の値に設定できます。詳細はリモートプロトコル仕様書など各種アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

② ディップスイッチ 6 (IP SETTING)

外部機器と通信するためのIPアドレスの設定方法を設定します。

設定	ディップスイッチ		内容
	6		
UNIT ID	<input type="checkbox"/>		[UNIT ID] を IP アドレスに使用します。IP アドレスは以下のように設定されます。 192.168.0.<UNIT ID>
PC	<input checked="" type="checkbox"/>		DHCP サーバーが存在する場合は、DHCP サーバーによって IP アドレスが設定されます。DHCP サーバーが存在しない場合は、リンクローカルアドレスによって IP アドレスが設定されます。

③ ディップスイッチ 7～8 (START UP MODE)

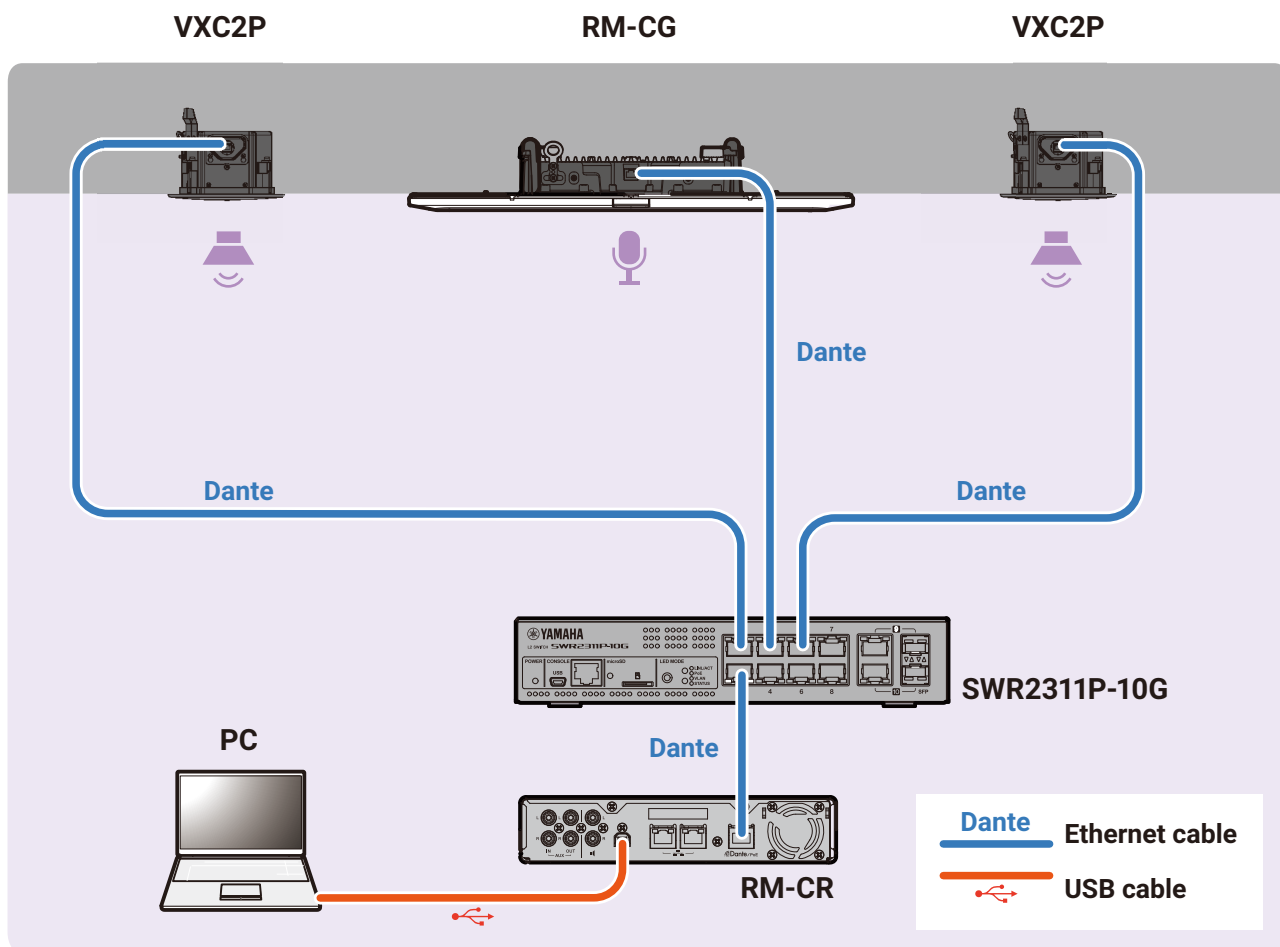
起動モードを設定します。

設定	ディップスイッチ		内容
	7	8	
RESUME	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通常の動作モードです。電源をオンにしたとき、電源をオフにする直前の状態を保持したまま起動します。
INITIALIZE	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本体を初期化し、工場出荷状態にします。 ☞ 本体の初期化 (17 ページ)

接続図

以下は、ADECIA シーリングソリューションの製品を組み合わせた場合の接続図です。以下の図を参考に、Ethernet ケーブルで本製品と周辺機器を接続してください。

ADECIA シーリングソリューションの接続例



周辺機器との接続

- Dante/PoE 端子から Ethernet ケーブルを抜いて再度 Ethernet ケーブルを差す場合は 5 秒以上間隔を空けて実施してください。故障や誤動作の原因になります。
- Dante ネットワーク内では、ネットワークスイッチの EEE 機能 (*) を使用しないでください。EEE 機能によってクロック同期性能が悪化して音声が途切れる場合があります。そのため、以下の点にご注意ください。
 - マネージドスイッチを使用する場合、Dante を使用するすべてのポートの EEE 機能をオフにしてください。EEE 機能がオフにできないスイッチは使用しないでください。
 - アンマネージドスイッチを使用する場合、EEE 機能に対応したスイッチを使用しないでください。これらのスイッチは EEE 機能をオフにできません。



注意

* EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能：ネットワークのトラフィックが少ないときにイーサネット機器の消費電力を減らす技術。グリーンイーサネットや IEEE802.3az と呼ばれる。

スピーカーの取り付け方法

製品に同梱の「設置方法」のイラストをご覧くださいながら、以下の手順でスピーカーを取り付けてください。

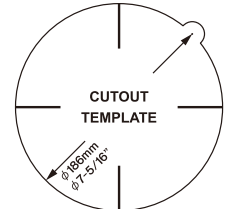


スピーカーおよび安全ワイヤーを取り付ける場所に、十分な強度があることを確認してから、取り付けを行ってください。

① 天井に穴を開ける

1. 同梱の **D** 穴開け用型紙を天井にあて、開口のための線を描きます。

- 開口部の直径が合わないとスピーカーを取り付けられなくなるため、必ず穴開け用型紙を使用してください。
- ホールカッターを使う場合は穴開け用型紙で直径を合わせてください。



2. 線に沿って穴を開けます。

D



穴を開ける際に、破片や粉などが目に入らないようにご注意ください。

② **E** 天井補強金具を取り付ける場合：別売の AB-C2 を設置する

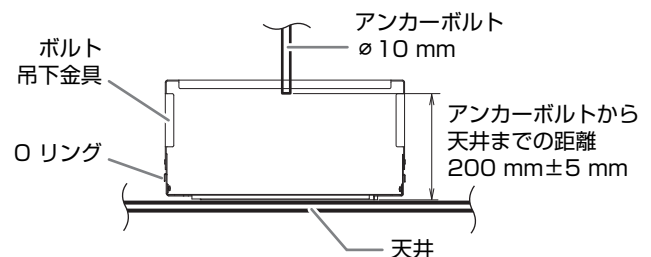
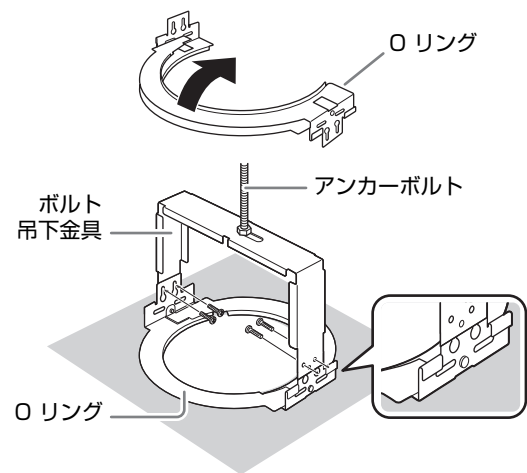
1. Oリングをたたんだ状態で天井裏に入れ、天井裏で広げます。

2. ボルト吊下金具を天井裏に入れ、付属のネジを仮留めします。

ここで仮留めをしておくと、固定しやすくなります。

3. イラストのように、アンカーボルト・ボルト吊下金具・Oリングを固定します。

- φ10 mm のアンカーボルトを使用してください。
- アンカーボルトは、天井までの距離が 200 mm ± 5 mm となる長さになしてください。

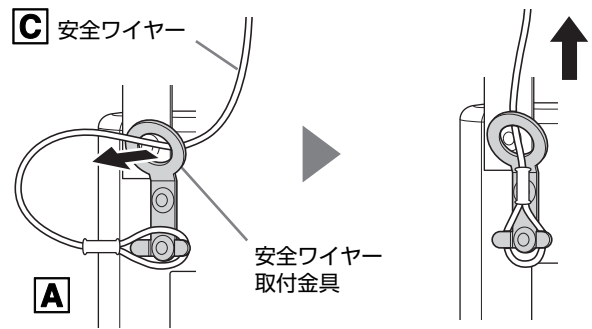


ボルト吊下金具を使って構造材で荷重を受ける等、天井パネルに耐荷重以上の荷重がかからないようにしてください。パネルに荷重がかかる場合、必要に応じてパネルを補強し、部材が破損しないようにするとともに、本体や部材等が落下しないようにしてください。

③ C 安全ワイヤーを天井に取り付ける

C 安全ワイヤーの一端を天井裏の構造体につなぎます。

安全ワイヤーが構造体に確実に取り付けられているのを確認し、もう一端を **A** スピーカー本体の安全ワイヤー取付金具に取り付けます。

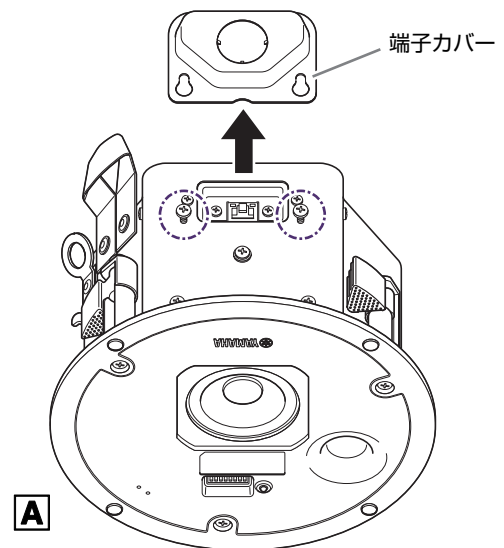


必ず落下防止対策を施してください。付属の安全ワイヤーで長さが足りない場合は、本体の重量、設置状況を考慮して適切な長さや強度のワイヤーをご用意ください。長さに余裕がありすぎると、落下時に運動エネルギーがワイヤーに多くかかり、断線して落下する可能性があります。

④ Dante/NETWORK 端子に Ethernet ケーブルを接続する

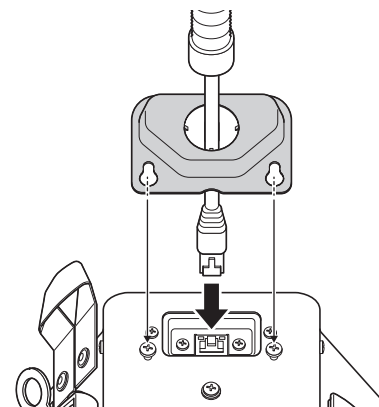
PSE (Power Sourcing Equipment) からの Ethernet ケーブルを、Dante/NETWORK 端子に接続します。

1. 端子カバーのネジを緩めて、端子カバーを本体から外します。



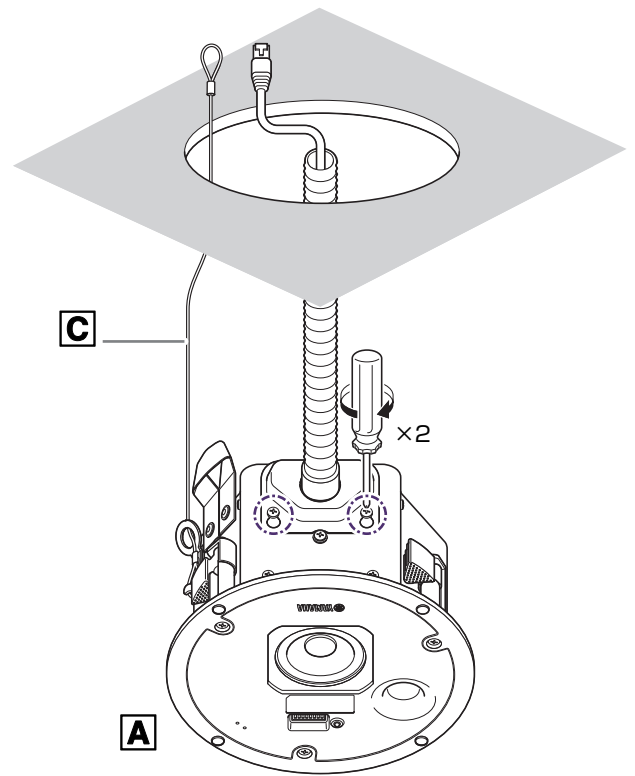
2. 端子カバーの穴に Ethernet ケーブルを通します。

※ 端子カバーを使用しない場合は、端子カバーを省略して Ethernet ケーブルを接続してください。



3. Ethernetケーブルを Dante/NETWORK 端子に接続します。

※ 端子カバーを使用する場合は、再び端子カバーを取り付けてください。



注意

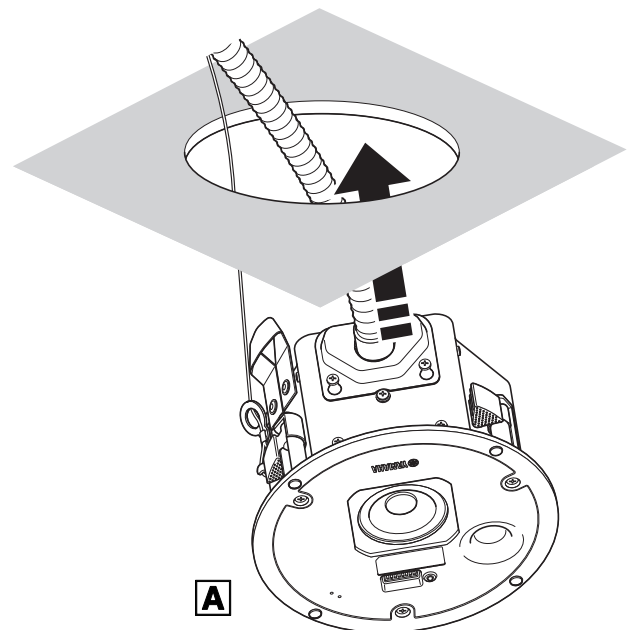
Ethernetケーブルを取り付ける際は、作業者の落下、および、本体や周辺の構造物等の落下・破損がないよう十分に注意して行ってください。

5 [A] スピーカー本体を天井に取り付ける

スピーカーを天井にはめ込む

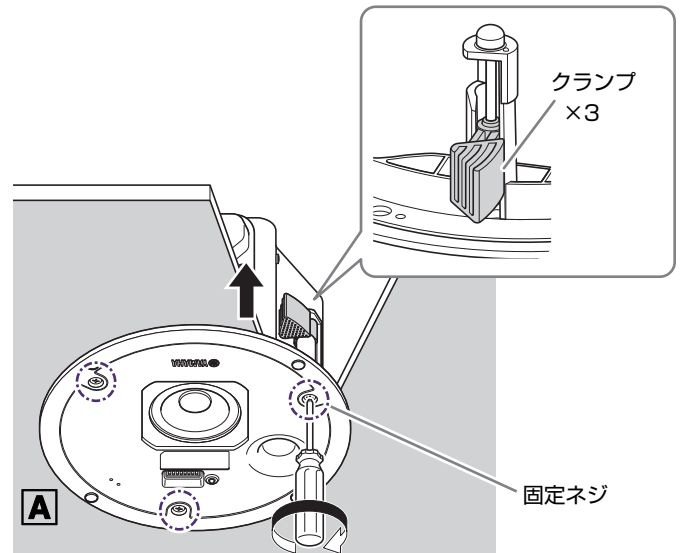
先にケーブル側を天井の開口部に収めます。

天井とスピーカーの間にケーブル・キャリーバンド・安全ワイヤーを挟まないように注意しながら、スピーカー本体を回転させるようにゆっくりと天井に押し上げます。



スピーカーを固定する

1. スピーカーを上を持ち上げながら、3か所の固定ネジをプラスドライバーで時計回りに回して締めます。
2. 最初の回転でクランプが開きます。
ネジを回すごとにクランプが下がり、天井やOリングを押さえ込みます。クランプが開きにくい場合は、いったん反時計回りに半周回すと開きやすくなります。



お知らせ

締めすぎるとネジが切れたりクランプが壊れたりするため、固定ネジを締めすぎないようにしてください。

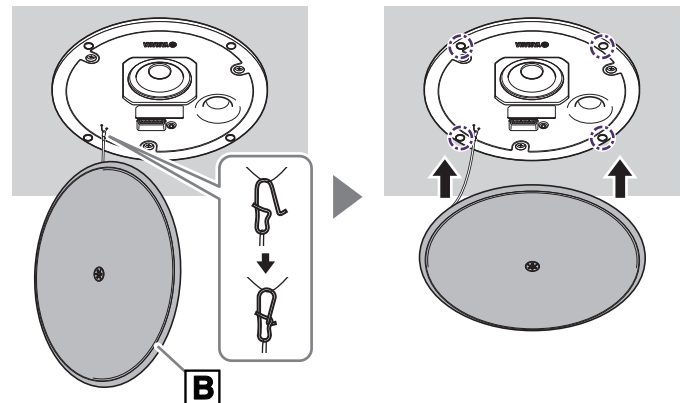


注意

固定ネジ以外を回さないでください。スピーカーユニットの落下や故障の原因となります。

⑥ B グリルを取り付ける

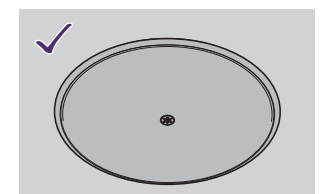
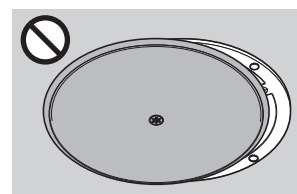
1. B グリルに付いている糸を本体に取り付けます。
2. スピーカー本体前面の磁石（4か所）にグリルを取り付けてください。



- ✓ スピーカー本体とグリルがぴったりとずれがない状態か確認します。

グリルの取り付け位置がずれている状態

正しく取り付けられた状態



注意

グリルの取り付け位置がずれていると、設置後にグリルが落下するおそれがあります。グリルを取り付ける際にはご注意ください。

ソフトウェアで制御する

本製品は、以下のソフトウェアを使用して設定・操作できます。

ソフトウェアは、ヤマハウェブサイトよりダウンロードしてください。

▼ ヤマハダウンロードサイト

<https://download.yamaha.com/>

① RM-CR Web GUI デバイスマネージャー

RM-CR や RM-CR に接続した機器の制御をします。Windows のブラウザ上で動作します。

- ✓ ADECIA 機器の簡単セットアップ (AUTO SETUP) ・手動登録
- ✓ デバイス情報の確認
- ✓ オーディオパラメーターの設定・制御
- ✓ プリセットの保存・呼び出し
- ✓ ファームウェアのアップデート

→ 詳しくは以下のマニュアルを参照してください。

- ・ セットアップ方法、デバイスマネージャーの起動方法：「RM-CR リファレンスマニュアル」
- ・ デバイスマネージャーの操作方法：「RM-CR RM-CG RM-TT Web GUI デバイスマネージャー操作ガイド」

② RM Device Finder

ネットワーク上の ADECIA シリーズの機器を検知し、管理するための Windows 用ソフトウェアです。

- ✓ デバイスの検知・デバイス情報の表示
- ✓ ファームウェアのアップデート
- ✓ 複数の部屋の分割結合設定とプリセットの切り替え

→ 詳しくは「RM Device Finder ユーザーガイド」を参照してください。(RM Device Finder のソフトウェアダウンロードファイルに同梱されています。)

③ ProVisionaire Kiosk

機器のコントロールを行うソフトウェアです。Windows PC または iPad/iPhone で動作します。

- ✓ 機器のコントロールまたはリモートコントロール
- ✓ ロール設定による操作権限の制御

→ 詳しくは「ProVisionaire Kiosk ユーザーガイド」を参照してください。

④ ProVisionaire Control PLUS

ProVisionaire Kiosk のコントローラーをデザインするための Windows 用ソフトウェアです。

インストールすることで、ProVisionaire Kiosk も同時にインストールされます。

- ✓ コントローラーの作成
- ✓ 建物・設備全体のコントローラーの一括管理

→ 詳しくは「ProVisionaire Control PLUS ユーザーガイド」を参照してください。

⑤ ProVisionaire Design

プロセッサを中心に周辺機器を組み合わせるサウンドシステム全体を設計・管理するための Windows 用ソフトウェアです。

- ✓ デバイスの検知・登録
- ✓ オーディオパラメーターの設定・制御
- ✓ ファームウェアのアップデート

→ 詳しくは「ProVisionaire Design ユーザーガイド」を参照してください。

ファームウェアのアップデート

ファームウェアは、以下のいずれかの方法でアップデートできます。

- ① RM-CR デバイスマネージャーを使用する
- ② RM Device Finder を使用する
- ③ ProVisionaire Design を使用する

ファームウェアファイルは、ヤマハウェブサイトよりダウンロードしてください。

▼ ヤマハダウンロードサイト

<https://download.yamaha.com/>

ファームウェアファイル

ADECIA Firmware : ADECIA 対応機器のすべてのファームウェアファイルを含みます。

VXC2P Firmware : VXC2P 単体のファームウェアファイルです。

① RM-CR デバイスマネージャーを使用する場合

1. ファームウェアファイルをダウンロードする

2. RM-CR デバイスマネージャーでアップデートする

[TOOLS] メニュー > Update 画面 > [FIRMWARE UPDATE]

→ 操作方法は「Web GUI デバイスマネージャー 操作ガイド」を参照してください。

② RM Device Finder を使用する場合

1. ファームウェアファイルをダウンロードする

2. RM Device Finder でアップデートする

[RM Device Finder] メイン画面 > Firmware Update 画面

→ 操作方法は「RM Device Finder 操作ガイド」を参照してください。

③ ProVisionaire Design を使用する場合

→ 操作方法は、「ProVisionaire Design ユーザーガイド」を参照してください。



本体の初期化

本体の設定を工場出荷時に戻す（初期化する）ときは、以下の操作をしてください。

① PSE (Power Sourcing Equipment) の電源をオフにする

② ディップスイッチを“INITIALIZE”に設定する




機器設定ディップスイッチで 7 を下側、8 を上側に設定します。

設定	7	8
INITIALIZE		

③ PSE の電源をオンにする

初期化が始まります。初期化の処理状況を Power インジケータで確認できます。

Power インジケータの初期化処理状況

インジケータ	色 / 動作		状態
	緑色	高速で点滅	初期化実行中
	緑色	低速で点滅	初期化終了
	消灯		初期化に失敗

✓ Power インジケータが低速で点滅したら、初期化の完了です。



お知らせ



初期化の実行中は PSE の電源を切らないでください。故障の原因になります。

④ PSE の電源をオフにする

初期化の完了後、PSE の電源をオフにします。

⑤ ディップスイッチを“RESUME”に設定する

機器設定ディップスイッチで 7 と 8 の両方を上側に設定します。

設定	7	8
RESUME		

⑥ PSE の電源をオンにする

✓ 本体が工場出荷状態で起動します。

仕様

商品仕様		
形式	フルレンジ パワースピーカー バスレフ方式	
外形寸法 (φ × D)	φ225 × D133 mm (グリル含む)	
質量	1.8 kg (グリル含む)	
電源	PoE+ (IEEE 802.3at), PoE (IEEE 802.3af)	
最大消費電力	25.5 W (PoE+ (IEEE 802.3 at)), 13 W (PoE (IEEE 802.3 af))	
Idle 時消費電力	4.0 W	
1/8 出力 (Pink Noise) 消費電力	6.2 W (PoE+ (IEEE 802.3at)), 4.9 W (PoE (IEEE 802.3af))	
動作環境	温度	0 °C ~ 40 °C
	湿度	30% ~ 90% (結露のないこと)
保管環境	温度	-20 °C ~ 60 °C
	湿度	20% ~ 90% (結露のないこと)
冷却方式	自然空冷	
付属品	グリル、穴開け用型紙、安全ワイヤー、取扱説明書、セーフティガイド、設置方法・寸法図	
別売オプション	天井補強金具 AB-C2	
本体色	白	
保護回路	スピーカー部	過熱保護、過電力出力保護、過電圧入力保護、低電圧誤動作防止
	アンプ部	過熱保護、短絡保護、DC 検出保護、過電圧保護、低電圧誤動作防止、クロック検出保護
	電源部	過電流保護、過熱保護
コンポーネント構成	6.4 cm (2.5 インチ) フルレンジユニット	
エンクロージャー仕様	キャビネット素材	鉄 1.0 mm 黒
	バッフル素材	PP (HB) 5 mm 黒
グリル仕様	素材	メタルグリル：パンチングメタル 粉体塗装 鉄 0.6 mm 開口率：51% トリムリング：ABS (V-0)
	仕上げ	白塗装 (マンセル 9.3 近似値)
入出力端子	RJ-45 (PoE/Dante) × 1	
操作子	ディップスイッチ 8 連 × 1	
表示器	Power (Front), SYNC (RJ-45), LINK/ACT (RJ-45)	
取付方法	天井埋め込み 開口寸法：φ186 mm 取り付け可能板厚：5 mm ~ 24 mm 対応配管：JIS C8350 可とう管用コネクタ：24-25/24-22 端子カバーノックアウト径：φ27.6	
RM-CR との最大接続数	16	
防塵・防水仕様	非対応	
防磁仕様	非防磁型	
エコプロダクト	非該当	
再生周波数帯域 (-10 dB) *1	80 Hz ~ 20 kHz	
公称指向角度 (-6 dB 1 ~ 4 kHz 平均)	160° 円錐状	
最大出力音圧レベル (peak) *1、*2	97 dB SPL	
認証	VCCI	

*1: ハーフスペース (2π)

*2: 2 m で測定し 1 m 換算した値を表示 (周波数範囲：100 Hz ~ 10 kHz)

電気仕様		
アンプ形式		Class-D
定格出力	ダイナミック	15 W (PoE+ (IEEE 802.3 at)), 6 W (PoE (IEEE 802.3 af))
	連続	15 W (PoE+ (IEEE 802.3 at)), 6 W (PoE (IEEE 802.3 af))
サンプリング周波数		48 kHz
信号処理		EQ/Enhancer, Volume, PEQ, Ducker (Noise gate), MIXER, Delay, SpeakerEQ (6band)
ネットワーク仕様		
イーサネット		Dante Audio/Dante Control, Remote Control, WebUI, PoE
ケーブル要求		CAT5e 以上 (STP)

SIGNAL BLOCK DIAGRAM

